

BIE 加盟国各位

拝啓

皆様の日頃のご活動に敬意を表します。私たちは「夢洲カジノを止める大阪府民の会」という市民団体です。昨年 11 月には、大阪・関西万博への参加を表明している在日各国大使館に、参加の再考を求める書簡を送付しました。4 月 8 日、ケルケンゼス博覧会国際事務局(BIE)事務局長が来日し、齋藤経済産業大臣、上月経済産業副大臣と会談しました。しかし、以下の事実が伝えられているのか不安でしたので、早急にメールにてお知らせさせていただきました。

- ① 2024 年 3 月 28 日、大阪・関西万博会場の建設中にメタンガスの引火による爆発火災事故が発生した。その後、4 月 22 日に工事が再開されたが、唯一の対策は現場の建設作業員によるガス測定の強化のみ。
(夢洲はゴミの最終処分場であるため、メタンガスなどが絶えず排出されており、国会でも爆発事故の危険性が指摘されており、夢洲駅建設時にもメタンガスが噴出し、高額な費用をかけて対策が講じられた。夢洲は浚渫土砂(汚泥)と建設残渣が埋まり、今後もメタンガスなどの有害ガスが排出され続け、地震による液状化は避けられない。工事中だけでなく万博期間中も爆発の危険性がある。)
- ② 万博期間中は、会場のすぐ隣で IR・カジノ用地の土壌改良や液状化対策工事が実施され、ダイオキシン、PCB、ヒ素、フッ素、水銀、セシウム(東日本大震災の原発事故による瓦礫の焼却灰)を含む粉塵が飛散する恐れがある。
- ③ 夢洲へのアクセスルートは 2 つしかなく、過去に強風や大雨でどちらも通行止めになった。また、夢洲の所在地の此花区は殆どがマイナス海拔(此花消防署では-1.5M)で、救助・避難が不可能だが、博覧会会場の防災・避難計画はまだ立てられていない。
- ④ 木製リングが完成すると、外部から重機やトラックが入りにくくなり、内部のパビリオンの建設に支障をきたすことになる。
- ⑤ 夢洲は大阪府により生物多様性ホットスポット A ランクに指定されており、コアジサシなどの絶滅危惧種の営巣地となっている。しかし、工事上の注意事項には「鳥類が営巣した場合、作業や隣接地へのアクセスが制限される恐れがあるため、営巣防止策を適宜検討し、実施すること」と記載されている。これは、2022 年 12 月に採択された「昆明・モンリオール生物多様性枠組」の目標に反する。
- ⑥ ドジャースの大谷翔平選手の元通訳だった水原一平容疑者の違法賭博詐欺事件に関与したとされるカジノ運営会社 MGM が米国パビリオンに出展するとの報道があったが、これは万博の理念に反し、社会的にも容認できないことである。
- ⑦ 1 月 1 日に発生した能登半島地震の復興が遅れていることから、万博のための国の資金・物資・労働力を、被災地復興に集中してほしいと、地元町議会が「能登半島地震被災地復興のための大阪・関西万博の再検討を求める意見書」を関係省庁に提出している。

このような問題を見做して、万博の建設工事を押し進めることは、万博の目的や、テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」とは真逆であり、建設作業員、来場者、その他すべての命を軽視し、脅かすことです。

だからこそ、私たちは大阪・関西万博の中止を呼びかけています。甚大な被害が出る前に、ぜひ、大阪・関西万博を中止するという英断をしていただくようお願い申し上げます。

添付資料もご参照ください。

敬具

夢洲カジノを止める大阪府民の会 HP:<https://vosakaf.net/>

〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2 カサブランカ 関目 103

山川義保 (事務局長)

Tel: 090-8536-3170

メール: stop-casino@vosakaf.net